

平成 22 年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	マクロファージによる死細胞貪食・分解の分子機構
研究代表者	長田 重一
審査の所見	応募者は、これまでアポトーシスに関する研究で国際的に高い評価を受けている。本研究は、応募者のこれまでの優れた研究成果を基盤に計画・立案されたものであり、極めて独創性が高く、研究計画、研究の意義、研究遂行能力など、どれをとっても申し分のない内容である。本研究の実施により、アポトーシスの研究分野においてさらに世界をリードする成果が得られる可能性が非常に高いと考え、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。